

国家の成長戦略として大学の研究・人材育成基盤の抜本的強化を
—新成長戦略、科学技術基本計画の策定等に向けた緊急政策提言(概要)—

- 経済成長には、研究開発や人材育成への投資が最も寄与。
- 大学は、国の成長にとって最も重要な、人材育成や、科学技術・学術水準の向上について中心的役割を担う、「知の拠点」であり「国力の源泉」。
- 諸外国は、科学技術・学術、高等教育への投資を急増。一方、我が国では、科学技術関係予算を削減。高等教育への財政支出も、OECD中最下位。主要大学への研究費配分も、米国の1/40。
- 我が国の大学院生数は諸外国に比べて少なく、しかも博士課程への進学者は年々減。

新成長戦略、次期科学技術基本計画等に盛り込み、早急に取り組むべき政策

(1) 若手研究者の育成・支援

- ① 国立大学の人件費削減方針を撤廃し、若手対象の数千人規模のテニユア付教員職の設置を支援
- ② 給付制奨学金の創設、特別研究員の増など、博士課程学生への経済支援を抜本拡充
- ③ 複数の研究大学等が連携し、PDを継続的に雇用するシステムの構築を支援
- ④ 国等が率先しPDを雇用。企業等とのプラットフォームでの教育等を通じ民間雇用を促進

(2) 研究者の自由な発想に基づく基礎研究等の推進

- ① 国立大運営費交付金や私立大学経常費補助等の基盤的経費の拡充
- ② 科学研究費補助金の新規採択率を現状の20%から30%にまで拡充
- ③ 「リサーチ・アドミニストレーター」や「二次的創造者」の確立など、研究協力・支援体制の強化
- ④ 施設の老朽化・狭隘化の改善、先端研究・大型研究を支える施設・設備整備の推進
- ⑤ 近年価格上昇が深刻な電子ジャーナルの安定的確保に向けた対応の推進

(3) 大学の国際競争力の強化

- ① 新しい成長分野を担う人材を輩出する国際標準の教育力を持った大学院の育成支援
- ② 国際化拠点整備事業(グローバル30)の着実な推進
- ③ 世界トップレベル研究拠点(WPI)の拡充や大型研究の推進、若手の海外武者修行の拡大
- ④ 国費留学生の受け入れ増や、外国人研究者・留学生の生活環境整備

(4) 体系的な大学予算システムの確立

- ① 安定的な教育研究の基盤となる国立大運営費交付金や私立大経常費補助等の確保
- ② 競争的資金(研究者主導型、政府主導型)を拡充しつつ、大学主導型の資金制度を創設
- ③ 大学における研究環境の維持・整備にとって不可欠な間接経費の改善・充実
- ④ 大学に対する国民からの直接支援(寄付)を促進するための税制の充実

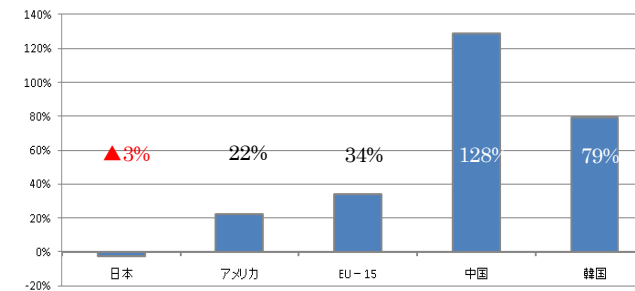
(5) 明確な投資目標を設けての公的投資の大幅拡充

- ① 国の研究開発投資の目標をGDP比1%以上に設定し、抜本的に拡充
- ② 高等教育への公的財政支出をOECD平均以上にすることを中期的な目標としつつ、当面、新成長戦略(基本方針)におけるGDP成長率の目標(3%)を上回る予算を毎年増

【参考データ】

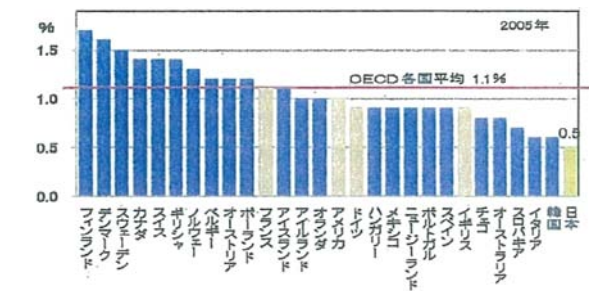
●科学技術関係予算の増減率(2004年→2007年)

[科学技術要覧(H21)により作成]

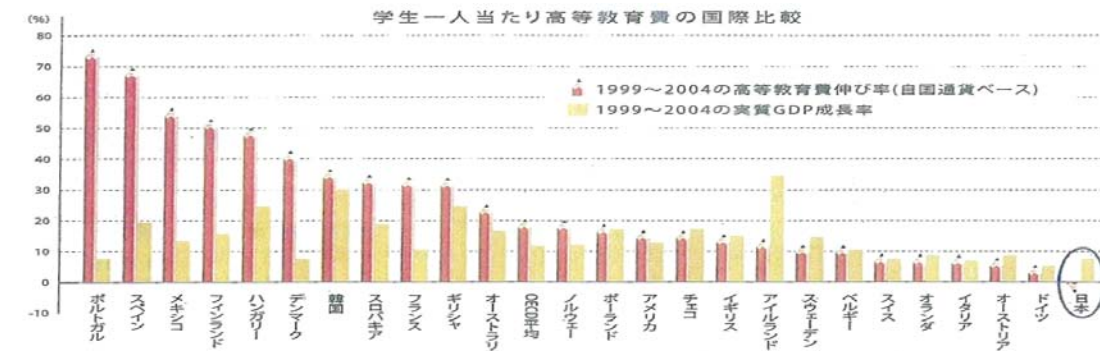


●高等教育機関への公的財政支出の対GDP比較

[出典: OECD, Education at a Glance 2008]

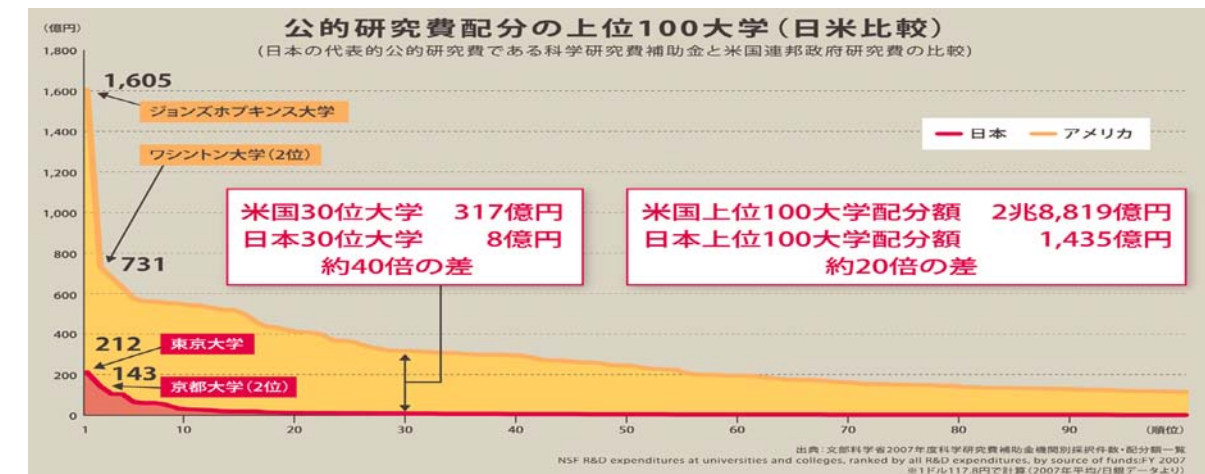


●学生一人当たり高等教育費の国際比較 [出典: 国立大学協会資料]



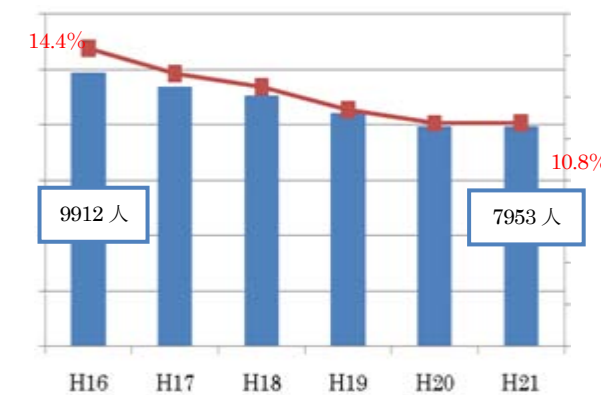
●公的研究費の日米比較

[出典: 国立大学協会情報誌「JANU Quarterly Report」2009]



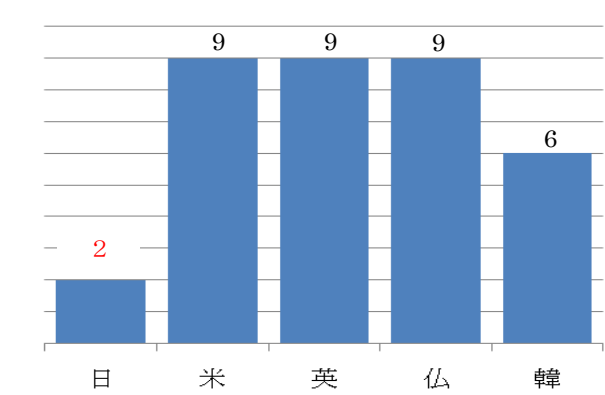
●博士(後期)課程への進学者の推移

[学校基本調査(文部科学省)により作成]



●大学院生数の国際比較

(人口1千人当たりの大学院生数)



[出典: 教育指標の国際比較 (H21)]